

経済指標ウォッチャー

米ISM景況感指数12月 製造業・非製造業で景況感が悪化

非製造業景況感指数が大幅に低下、景気後退を見据え企業は慎重姿勢

ISM景況感指数とは？

全米供給管理協会（ISM）が製造業・非製造業の購買担当者へのアンケート調査結果をもとに、毎月公表している米国企業の景況感を示す指標のひとつ。製造業が毎月第1営業日、非製造業が毎月第3営業日に公表される。50が景気の拡大・後退の分岐点であり、50を上回ると景気拡大、50を下回ると景気後退を示す。

製造業・非製造業ともに景況感が悪化

全米供給管理協会(ISM)が4日に発表した、12月の製造業景況感指数は48.4（市場予想：48.5）となりました。好不況の節目となる50を2ヵ月連続で割り込みました。なお、6日発表の12月の非製造業景況感指数は前月から大幅に低下し、49.6（市場予想：55.0）となりました（図表1）。両指数ともに2020年5月以来およそ2年7ヵ月ぶりの低水準となっています。

米連邦準備制度理事会（FRB）の積極的な金融引き締めによる景気後退を見据え、一部の業種で新規採用の停止や人員削減の動きが広がっているほか、さらなる需要の低迷を見込み、在庫の積み増しや新規受注を減らしたことなどが、製造業・非製造業ともに景況感の悪化につながったとみられます。

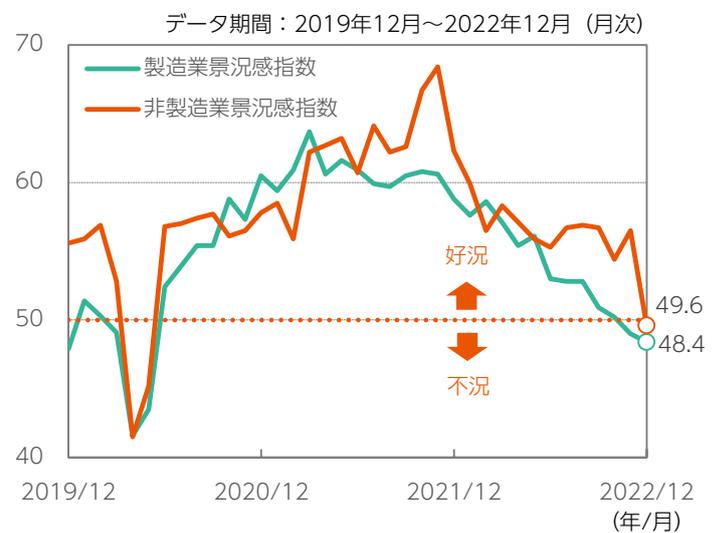
製造業では18業種中、木材製品や加工金属製品、化学製品などの13業種が、非製造業では18業種中、不動産や卸売りなどの6業種が業況悪化が業況の悪化を報告しています。

景気悪化懸念から新規受注の低迷が続く

景況感指数を構成する指数のうち『新規受注』の低迷が続いています。製造業の新規受注指数は45.2と、4ヵ月連続で好況・不況の節目となる50を下回り、非製造業も前月から大幅に低下しました（図表2）。物価上昇による節約志向はモノからサービスに急速に波及しつつあるようです。企業アンケートからは、サービス業を中心に在庫過剰を懸念する声などがありました。

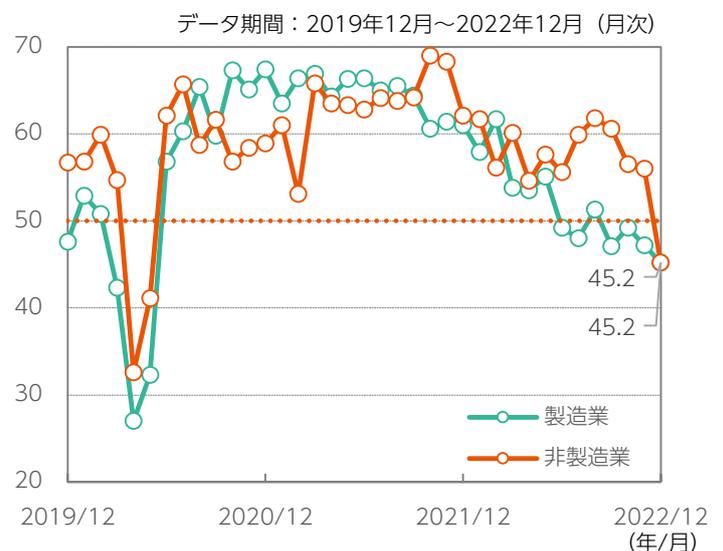
米連邦準備制度理事会（FRB）による金融政策の行方や景気悪化懸念など、先行き不透明感が強まる中では、当面、企業の慎重姿勢が継続することが予想されます。

図表1：景況感指数は製造業・非製造業ともに低下



※ISM製造業・非製造業景況感指数の推移

図表2：製造業を中心に新規受注が減少傾向



※ISM製造業・非製造業景況感指数の構成指数（新規受注）の推移

出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>